

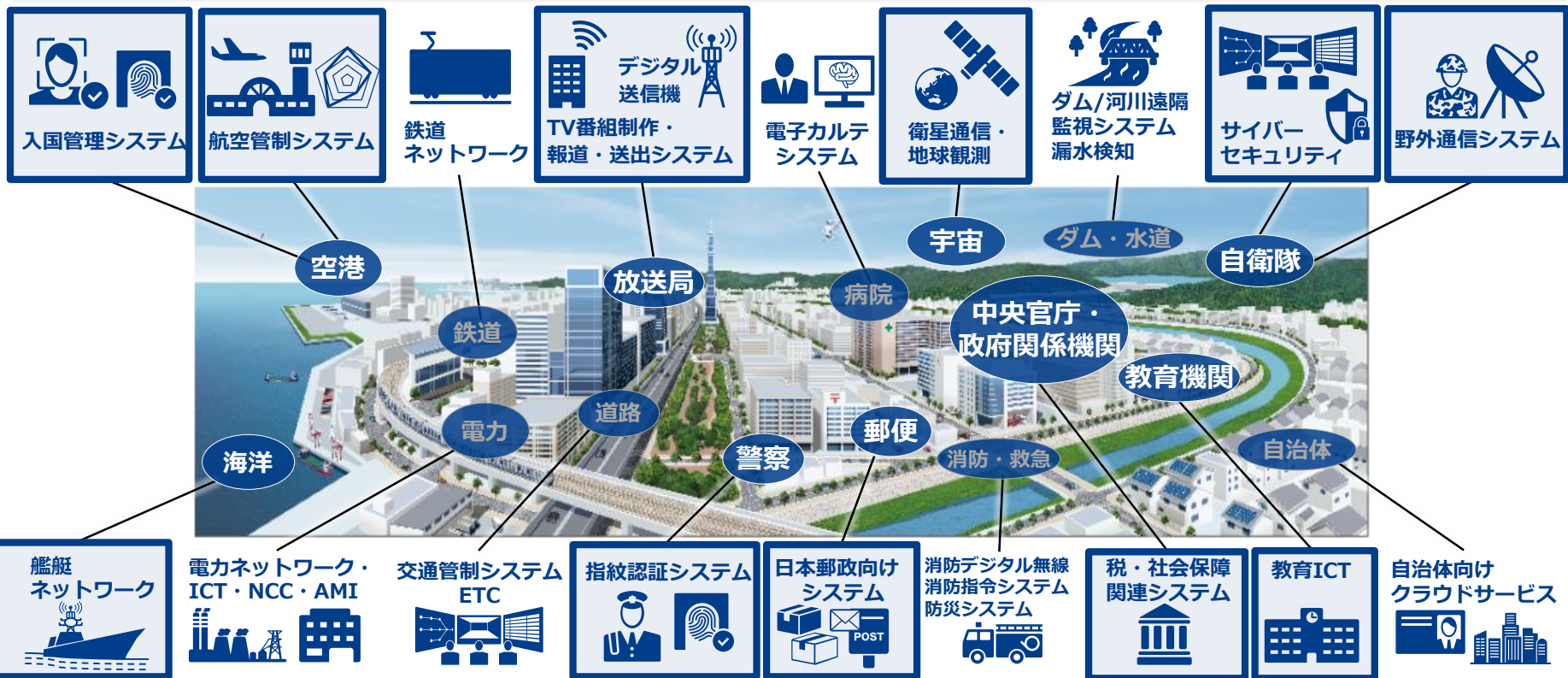
社会基盤事業

執行役員常務 田熊 範孝

社会基盤事業の概要

□: 社会基盤事業領域

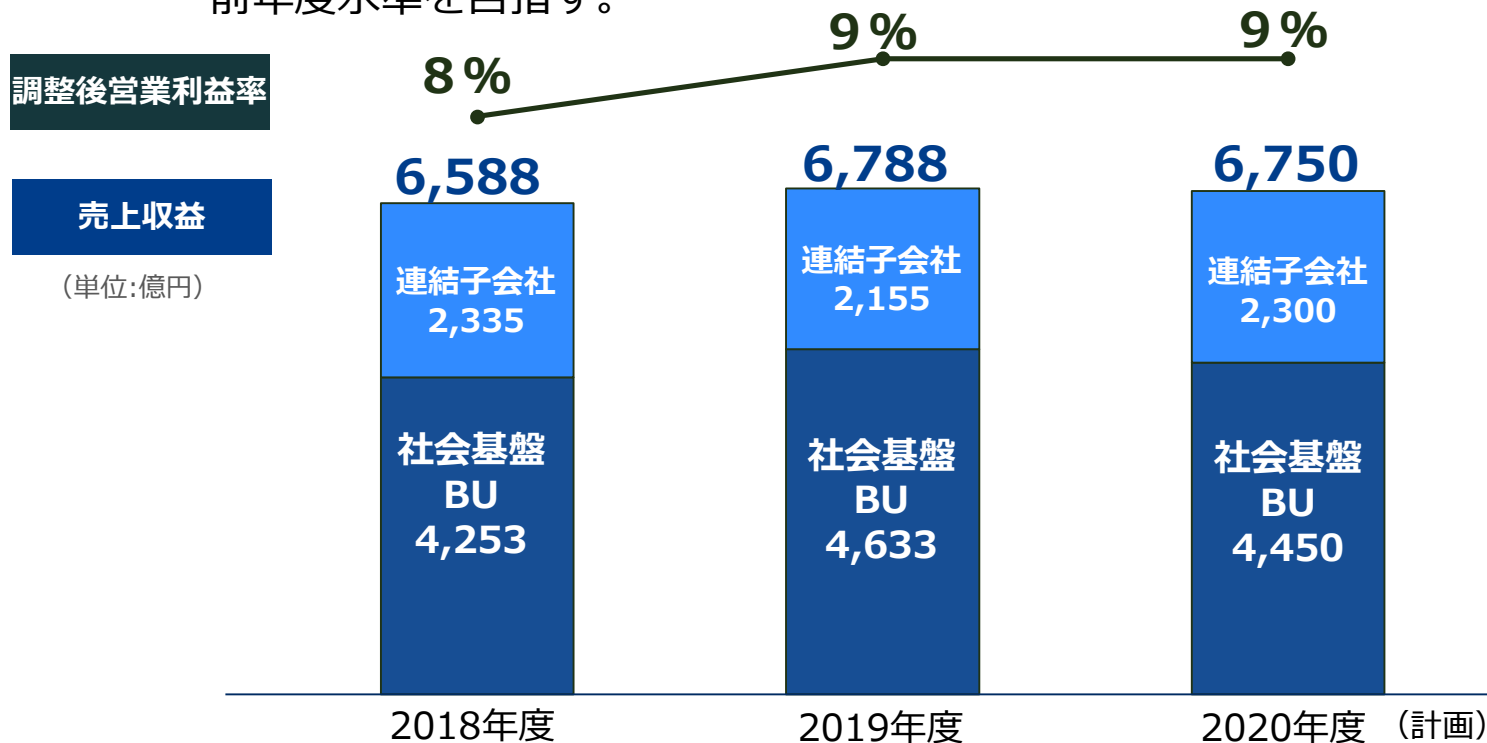
国の機関、放送局等向けのプロダクトとSI・サービス事業を担う



2018年度から2020年度の業績推移

■ 2019年度：全事業領域で前年度から増収増益。

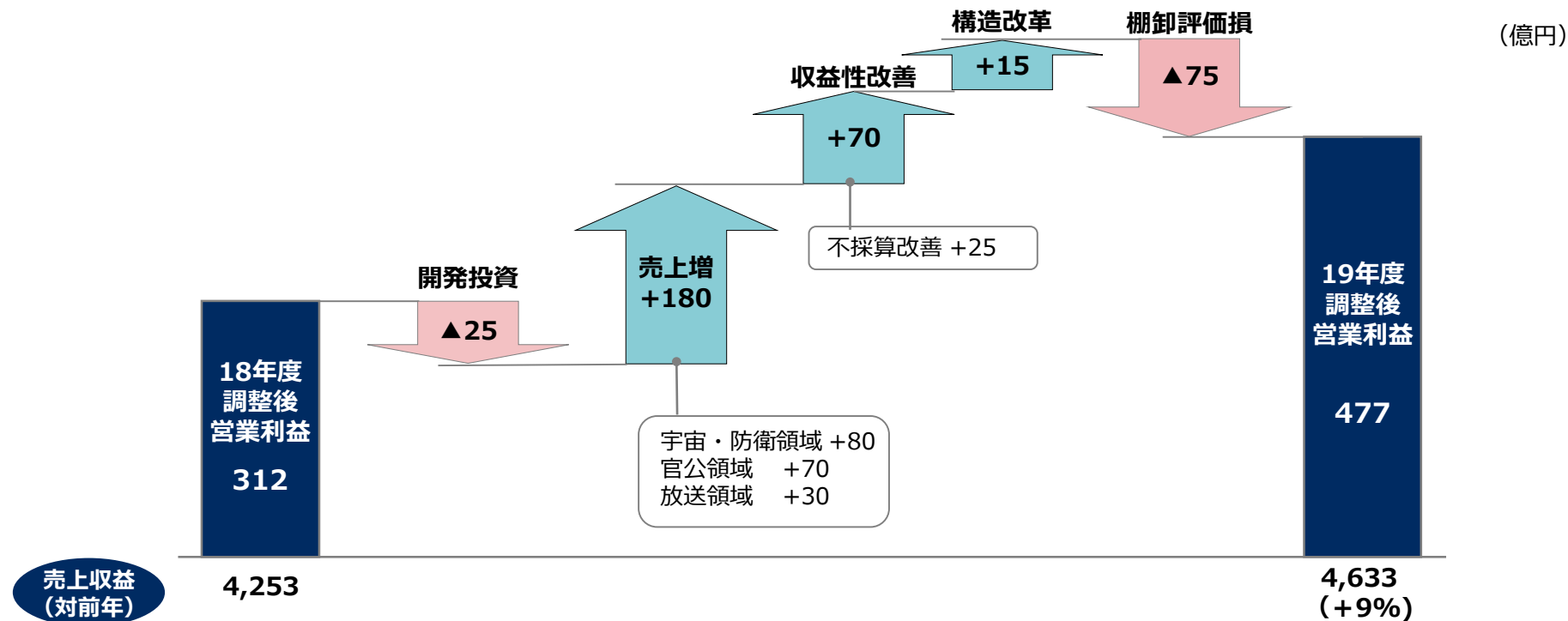
■ 2020年度：宇宙・防衛領域の大型案件減等により減収を見込むが、調整後営業利益率は前年度水準を目指す。



※以降の頁では
連結子会社除く数値
で表示

2019年度の実績

75億円の棚卸評価損を計上するも、売上増および収益性改善などで
165億円の改善



主な成果

■ 計画達成、全社業績へ貢献



■ 重要プロジェクトの獲得／完遂



出典：防衛省・航空自衛隊ホームページ
(<https://www.mod.go.jp/asdf/okinoerabujima/index.html>)

課題

不採算案件の極小化には至らず

2018-2019年度の実績 -領域別サマリ-

官公



- ITやNW技術を組み合わせた案件にも事業を拡げ、**売上収益は増加**
- 高い収益性を維持

宇宙
防衛



- 宇宙領域は過去受注の不採算案件により**利益毀損が継続**
- 防衛領域は、大型案件により**売上収益が増加**
不採算が減少し、収益性も改善

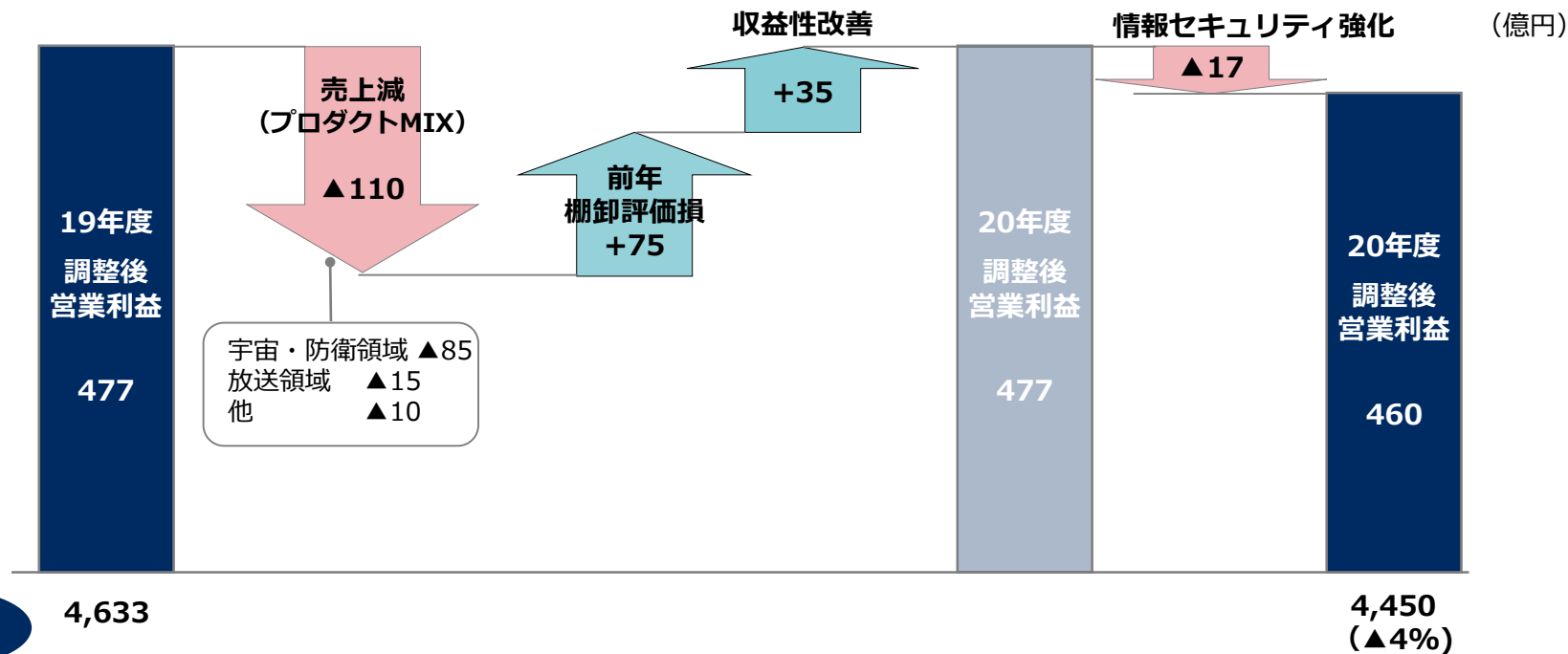
放送



- **売上収益は横ばい**で推移
- 品質管理強化等のプロセス改善活動が功を奏し、**収益性が改善**

2020年度の見通し

売上収益の減少による減益を、収益性の改善（前年度棚卸評価損見合いの改善含む）により、2019年度水準を目指す。情報セキュリティ強化に向けて投資実施。



COVID-19の影響について

Q1業績への影響

- テレワークに制限がある宇宙・防衛事業で稼働低下（情報セキュリティ上の理由）
→ 稼働損と進捗遅れ 利益▲15億円

対応策

今年度の見通し

- Q2以降の稼働率改善、経費効率化、原価低減で吸収しリカバリ
- 政府補正予算案件の獲得を推進中

2020年度の事業戦略

事業戦略

- 前年度水準の営業利益を確保し、5年～10年先を見据えた投資を実行

売上収益 **4,450** 億円 調整後営業利益 **460** 億円

重点施策

- COVID-19インパクト極小化
- DX・New Normalへの取り組みと社会システムの世代交代への対応



- 不採算案件極小化施策

不採算案件極小化への取り組み

不採算発生パターンを類型化し、世界/業界初の技術の品質強化施策を推進中

2019年度



施策

サプライチェーン
全体を通じた
品質改善活動を継続

前年度比 **25%** 削減

2020年度

発生パターン調査



不採算全体の
63%

強化施策

- ・ 研究開発案件の事業化
- ・ 顧客商習慣への提言
- ・ 提案段階でのリスク検証強化

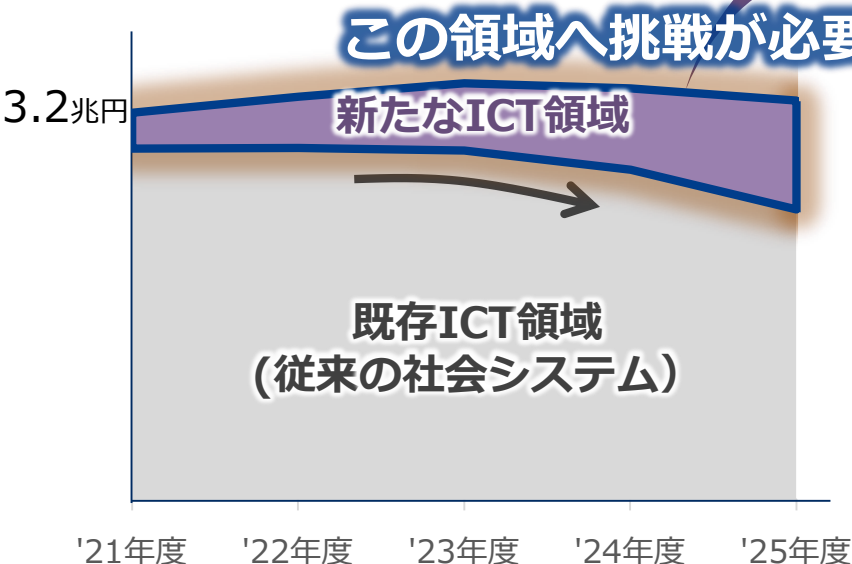
前年度比 **50%** 目標

中長期的な課題と展望

安定した事業規模維持に向けて事業拡大へ挑戦

社会基盤市場規模推移

(官公・宇宙・防衛・放送のICT領域)
※調査会社のデータをもとにした当社推定



事業拡大に向けた3つの柱

1

新たな競争優位性の確立

2

新たなビジネスモデルへの挑戦

3

社会システムの
トランスフォーメーション実現

事業拡大への挑戦 ①新たな競争優位性の確立

ICT・センサ・ドメインナレッジ・政策提言力などの強みを複合し競争力UP

BEFORE

単一的な強みで受注獲得



営業力

or



SI力

or



技術力



関連特許登録件数
約5,000件超

AFTER

複数の強みの組み合わせで競争力UP

事例

映像プラットフォーム

IT技術



映像技術

パートナーリング

ドローン管制事業

IT技術

政策
提言力



センサ
技術



NW技術

パートナーリング

事業拡大への挑戦 ②新たなビジネスモデルへの挑戦

お客様のバリューチェーン全体を俯瞰し、高収益型のサービス事業へ挑戦

公共事業執行支援SL

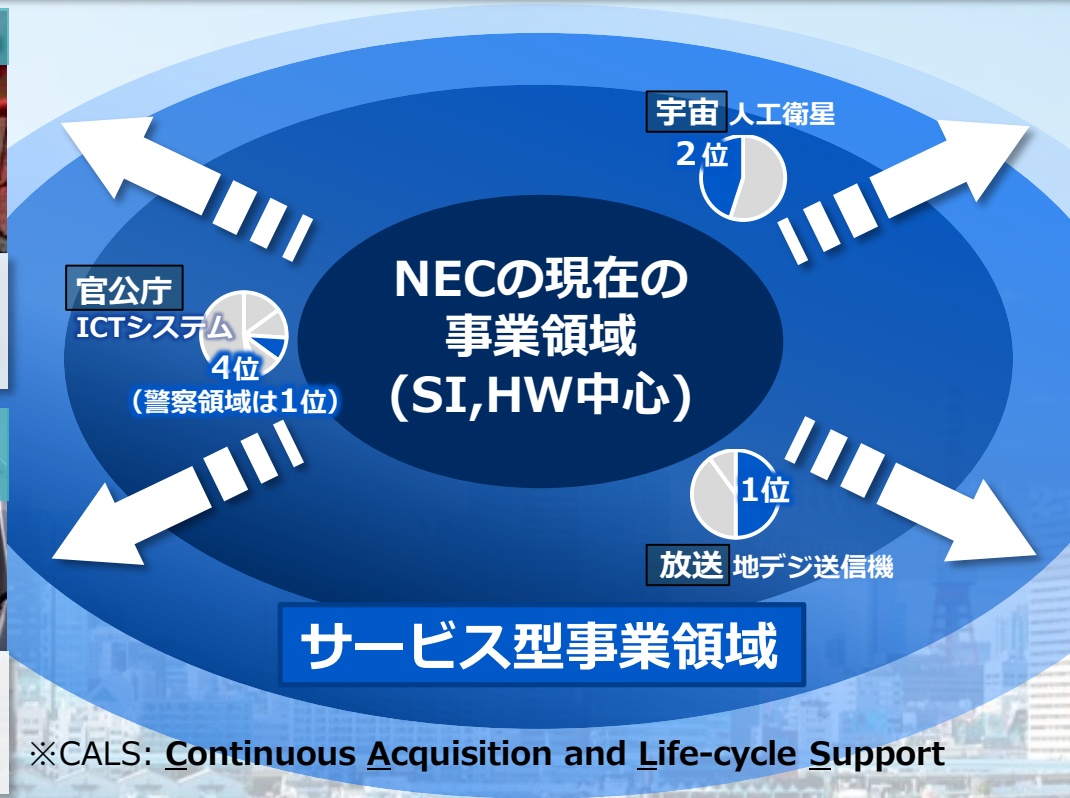


CALS-ASPサービス
(作業報告書受付・管理)

運転免許事業基幹システム



高齢ドライバー対応
免許更新サービス
(教習所予約受付)



※CALS: Continuous Acquisition and Life-cycle Support

準天頂衛星PFI



衛星運用・測位信号
サービス

放送局各種システム



映像プラットフォーム
(CM・番組素材の
業務へ進出)

【事例】高齢ドライバー対応運転免許更新サービス

増加していく高齢ドライバー向けの行政サービスの利便性を向上

BEFORE



講習・検査
待機日数
約 **60** 日間

行政職員の
業務負担の増大



AFTER



講習・検査
待機日数
半減



データ利活用(データマイニング)
行政業務BPO(コールセンター)
NEC

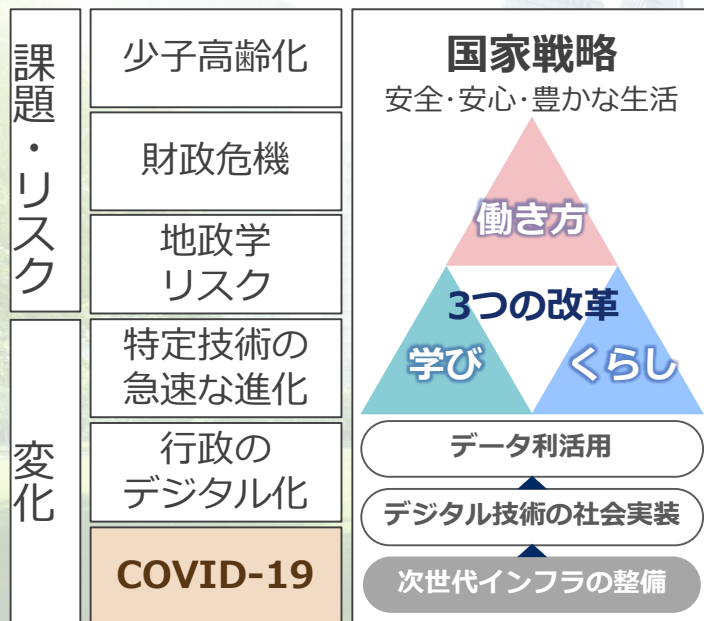


行政職員の生産性向上



国民が安全で安心して暮らせ、豊かさを実感できるデジタル社会を加速

社会課題と展望



デジタル化重点事業領域

■ 暮らし ■ 学び ■ 働き方

運転免許

▶ Transformation with Modernization

行政サービス

▶ i-Construction(CALS)

社会保障

▶ COVID-19対応

教育ICT

▶ GIGAスクールPC
▶ 教育PFサービス

次世代インフラ整備

・新政府PF構築

宇宙・防衛領域を含めた、安心・安全な社会の創造

中長期な展望

防衛大綱

領域横断作戦の実現

新たな領域への対処



宇宙
サイバー
電磁波領域
の能力強化

課題等

諸外国と安全保障
連携の必要性

海外装備品
調達拡大

諸外国の政策
スピードへの対応

財政危機
人員不足

取り組みと技術開発の一例(宇宙)

政策提言

光通信



センサ技術



AI

(予測・解析)



量子暗号



SSA・SDA能力



衛星製造・運用能力



※SSA : Space Situational Awareness

SDA : Space Domain Awareness

【事業領域】 国の重要インフラを支える社会基盤BU

【業績見通】 業界トップの利益水準をキープ

**【将来展望】 事業拡大領域へ挑戦し、安定した事業
基盤を維持**

Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という
社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる
持続可能な社会の実現を目指します。